



中核だより



病院理念

地域に信頼される、質の高い、親切な医療サービスを提供する

病院方針

- 医学・医療技術の進歩・発展を診療に反映させるように努め、地域の住民に安全で質の高い、患者さんの意思を尊重した医療及び快適な医療環境を提供する。
- 地域の医療機関との役割分担・機能連携のもとに、地域において不足している医療、特に第二次救急医療を強化し、二次医療圏での医療の充実を目指す。
- 地域の保健・医療・福祉機関との連携を図り、包括医療の向上に寄与する。
- 優秀な人材の育成を図るため、地域の医療従事者への教育・研修機能を充実させるとともに研修医・看護学生の受け入れを積極的に行う。

主な内容

病院に対する第三者評価の重要性	2 ページ
診療科紹介(1)	3 ページ
診療科紹介(2)、外来ボランティアの募集	4 ページ
地域住民病院見学会を開催します	
ヘリコプター場外離着陸場整備工事が完成しました	5 ページ
地域医療を支える看護師を募集しています	
当院の安全な医療への取り組み、地域住民の皆様へ	6 ページ
栄養サポート、面会時間のお知らせ	7 ページ
外来診療時間及び担当医師のご案内	8 ページ





病院に対する第三者評価の重要性

副院長 最 首 俊 夫

今回は、みやぎ県南中核病院が受けている第三者評価が非常に重要なことを話したいと思います。第三者評価には、個人を第三者が評価する、あるいは病院・会社・国など組織を第三者が評価することができます。自分自身を考えてみてください、自分を自己評価のみで評価することはありますが、どうしても評価が甘くなる危険性があります。より客観的に物事を評価するためには、第三者による評価が非常に重要になります。ある側面では、そのような評価に基づき物事を進めていくことも必要になります。

みやぎ県南中核病院も、定期的に第三者評価を受けています。その中のひとつに、病院機能評価の審査があります。病院機能評価の認定がされていることは、病院のホームページあるいは病院外来の掲示などでご存じの方もいるかと思います。これまで、当院は2回の病院機能評価審査を受け、病院機能評価認定を受けた実績があります。

病院機能評価は、病院が組織的に医療を提供するための基本的活動が適切に実施されているか評価する仕組みです。「病院が自ら評価した後で第三者の評価を受ける」という過程を経ることで、現状の問題点を客観的に把握でき、改善への方向性が明示され、より効果の上がる具体的な改善目標を設定することができます。この過程が医療の質の向上と効果的なサービスなどの改善につながります。

今年は、当院は病院機能評価認定の更新受審の年にあたります。受審するにあたり、特別に現状を変えることはしませんが、改めて

病院全体を見渡すことを行います。普段気づかなかった点、不十分な点をチェックしていきます。これらは、病院として常日頃行っている作業ではありますが、どうしてもチェックが行き届かない事項がある可能性があるので、この機会に重要なポイントごとに再確認を行います。

今回の病院機能評価審査の中のひとつに、患者さんの外来から入院・退院・退院後までの流れをチェックする審査があります。この流れは、医師・看護師のみならず事務員・多くの医療従事者（薬剤師、栄養士、理学療法士など）などが関与して、はじめてスムーズな流れができます。今回の審査では、それぞれの業務がスムーズに問題なく流れているかをチェックします。なんらかの問題点が出てくるかもしれません、非常に重要な審査であることがご理解できるかと思います。

このように、当院は内部からの改善のみならず、外部からの改善への指摘を随時受け止めて、よりよい病院に発展・前進する努力をしています。



●●・診療科紹介(1)●●



神 経 内 科

神経内科主任部長 濵 谷 聰

脳卒中、神経難病が神経内科の主要な疾患ではあります。今回は『むずむず脚症候群』、『ナルコレプシー』、『レム睡眠行動異常』を取り上げます。これらの疾患は有効な治療があるにもかかわらず、あまり知られておりません。実は患者さんもけっこういるのです。

むずむず脚症候群の特徴

じっと座っているときや横になっている時に、脚（時には腕にも）に不快感が起り、脚を動かさずにいられなくなります。この不快感はむずむずする、虫が這っている、ピクピクする、ほてる、いたい、かゆいなど、さまざまな言葉で表現されます。むずむず脚症候群の症状は夕方から夜間にかけて出現しやすいために眠りにつくことができない、夜中に目が覚める、ぐっすり眠れないなどの睡眠障害の原因になります。

ナルコレプシーの特徴

昼間突如として眠ってしまいます。普通なら眠気を催すはずのない試験中や仕事中などの緊張した場面でも、急に眠気におそわれ眠ってしまいます。これは前夜によく眠れたかどうかと関連しません。1回の眠りはおよそ20分くらいで、目覚めたあとにすっきりしています。これを睡眠発作と言います。また、笑ったり、怒ったり、びっくりすると全身の力が抜けてしまうことがあります。私の経験では孫をあやすと力が抜けて落としそうになった方がおりました。これを情動脱力発作と言います。さらに、寝入りばなに現れる金縛りのような症状である睡眠麻痺や、寝入りばなの夢体験による入眠時幻覚も特徴的な症状です。

レム睡眠行動異常の特徴

これは本人より一緒に寝ている人が最初に気づく病気です。睡眠中に大声でストーリーのある寝言を言ったり、笑ったりする。睡眠中に手足を振ったり、ベッドに立ってしゃべりだしたりする。夢を見ていてベッドから落ちて怪我をしたり、夢で出てきた邪魔なものを蹴飛ばしてテレビやタンス、壁などを壊してしまったりします。夢遊病のようにベッドや布団から出て、室外に出たりします。その間のこととはたいがい覚えていませんが、変な感覚が残っていることもあります。

いずれの病気も 一般の方はもちろん、恥ずかしながら医師の間でもまだあまり知られていないため、自分の症状が病気であると気づかないこと、病院に行っても医師に理解してもらえないことも少なくありません。多くの症状が飲み薬で改善します。自分や知人がそんな症状かなと気づいたら、神経内科を紹介してもらってください。



●●・診療科紹介(2)・●●

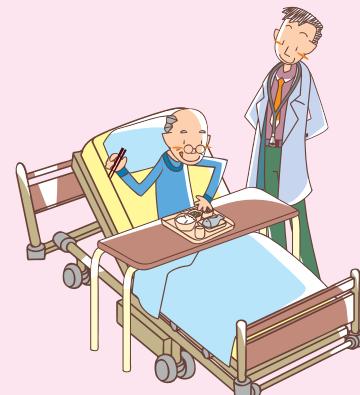


呼吸器内科

検査診療部長兼呼吸器内科部長 岡田信司

呼吸器内科は肺・呼吸に関係した病気の治療を行います。当院の他の科と同様に、開業医の先生や、よその病院から専門的な治療が必要だと判断された患者さんを治療します。呼吸器の病気の中には、喘息や慢性閉塞性肺疾患などのように体質や習慣により発症し、長く付き合わなければならぬ病気や、肺癌や肺線維症のように治療がとても困難な病気が多くあります。病気によっては、徐々に悪くなってくるものもあります。このような病気の患者さんには長い期間、外来に通つてもらわなければなりません。このなかで、なるべく病気が悪くならないように、生活の質が落ちないように、患者さんと一緒に頑張って治療を行っていきます。

入院で最も多いのは、お年寄りの肺炎、誤嚥性肺炎です。多くの場合、老化現象の兆候の一部として嚥下する機能の障害が起きたために、食べ物や、口の中に溜まっている食べ物の残りを餌に繁殖した細菌、胃や食道を逆流してきたものなどをうまく飲み込めず、気管・気管支の方に“誤嚥”するために肺炎を発症します。肺炎は、食事を止め、気管に入り込んでいるものを何回も吸引して、抗生剤を点滴することで、普通1~2週間で良くなります。この治療自体、患者さんにかなりの苦痛を強いるのですが、肺炎が治っても、その原因になっている嚥下機能の障害が良くなるわけではありません。口のなかを常にきれいにして、リハビリを続けて、うまくすると、食事を再開出来るようになることもありますが、これらのケアを毎日続けていかなければ効果がありません。また、これが一番大事なことです、中核病院では、肺炎を治療し、嚥下機能を評価し、食事が再開できる患者さんには食事を再開するところまでしか行いません。病気を治療したあとに、相変わらず残っている“障害”を“治療”することは出来ないです。その後は、ソーシャルワーカーなどが障害の程度などを見ながら、退院後の生活などを、ご家族と一緒に考えていきます。このように、中核病院への入院は、患者さんにとって決して安楽なものではありません。このことを多くの人に理解していただかなければならないと考えています。



呼吸器内科に通院・入院する患者さんは、つらい病気を抱え、つらい治療を行わなければならぬ患者さん達です。私たちは、できる限り患者さんに寄り添って治療をしていきたいと思っています。

●●・外来ボランティアの募集・●●

当院では外来ボランティアさんの募集をしています。ボランティア活動に興味のある方は、ぜひご応募ください。

- 活動内容：ご来院の方の院内案内や移動のお手伝い等
- 活動時間：平日9:00~11:00のうち、
ご希望の曜日、時間で活動していただきます。(要相談)
- 問い合わせ：みやぎ県南中核病院 総務課 関場まで
TEL (0224) 51-5500 (内線2010)



現在は14名登録され、毎日平均2~3名活動いただいております。ボランティア未経験の方も活動できるように、事前に面談とオリエンテーションを行っております。

●●●地域住民病院見学会を開催します●●●

みやぎ県南中核病院では、地域住民の方々に病院をより知っていただくことを目的に病院見学会を開催いたします。

当日は病院内見学、医療講演、医療体験、健康測定等のイベントを企画しておりますので、是非ご来場ください。イベントの詳細については病院ホームページへ掲載いたします。

●日 時 平成26年3月15日(土) 13:00~17:00

●会 場 みやぎ県南中核病院

◆実施予定企画

●病院内見学 ●医療講演 ●模擬医療体験 ●看護体験 ●健康測定
●ハンディキャップ体験 ●体験食 ●エコ一体験 ●X線装置、CT見学 ●調剤体験

●ホームページアドレス : <http://www.southmiyagi-mc.jp>

●問い合わせ先 : みやぎ県南中核病院 総務課

電話 0224-51-5500(代表)

受付時間 : 8:30~17:00 (土日、祝日を除く)

E-mail : info@southmiyagi-mc.jp



●●●ヘリコプター場外離着陸場整備工事が完成しました●●●



ヘリコプター場外離着陸場は、中核病院の増築工事（腫瘍センター及び救命救急センター）の一部として、救命救急センターの機能の充実を図る目的で整備を進めておりましたが、このたび完成いたしました。通常は、ヘリコプター到着時に即座に車の移動ができるように、病院職員の専用駐車場として使用しております。

●工 期 平成25年6月20日～10月31日
地域医療再生事業補助金対象事業

●●●地域医療を支える看護師を募集しています●●●

副看護部長 佐 藤 瞳 子

仙南地区は宮城県の中でも、人口あたりの就業看護師数が最も少ない地域です。その中で病院職員は、救命救急やがん医療の中核となる病院を「私たちが支える」という強い意志を持って従事しています。救命救急センター、腫瘍センターが開設しましたが、重症病棟の充実および緩和ケア病棟を開棟させるにはさらに多くの看護師が必要です。



地域の皆様に、より質の高い医療・看護を提供するために、一緒に地域に貢献してくれる方を募集しています。福利厚生や卒後教育の充実した職場環境です。子育てが少し落ち着いた方やブランクのある方、看護学生さん、自分たちの地元地域で一緒に働きませんか。

どのような看護を行っているか実際にみていただけるよう病院見学会を実施しています。また、実際に勤務している看護師に聞いてみたいことなどがあれば質問タイムを設けています。「病院の評判は様々だから…」という方、「百聞は一見にしかず」、是非一度見学にいらしてください。



先輩看護師の声：この病院を選んだ理由

私はこの地域で生まれ育ちました。そしてたくさんの方々と出会い、色々な方々に支えられ、看護師という道に進むことができました。

そこで、私が学んできた知識や技術をこの地元で発揮し、幼少から過ごした町や今まで関わってくださった方々に地域貢献という形で恩返しをしたいと思い、この病院に就職しました。

(2013採用 看護師 秋山)

・・・当院の安全な医療への取り組み・・・

平成26年2月 医療安全管理室

当院は、住民の皆様が安心して医療を受けていただけるよう医療安全を推進しています。その活動の1つとして、中核だよりに具体的な「事例」などを紹介し、住民の皆様の医療安全へのご協力をお願いしています。

事例 今日は転倒の予防についてお伝えします。

日本の平均寿命の伸びは著しく、日本は世界一の長寿国になりました。それに伴い高齢の方が入院されることが多くなってきました。

人は誰でも高齢になると視力・聴力・体力・記憶力などが衰えますが、入院中はベッドに休むことが多いため筋力が衰えてきます。

特にめまいやふらつきがある方は転倒に注意しましょう。

そして、高齢の方は転び易いので、入院中に限らず普段からのちょっとした工夫や用心で転倒を予防しましょう。



めまいやふらつきがある方、治療の目的で動く範囲をベッド上と決めている方などは、ベッドから離れるとき、遠慮せずナースコールで助けを呼びましょう。



自分に合った眼鏡をかけましょう。

スリッパやサンダルは脱げやすく引っかかることがあります。入院中も安全な靴を履くことをお勧めします。



家では床を片付けて常夜灯を活用しましょう。
たとえば暗くなると光る常夜灯もあります。



運動すると体力がつきバランスが良くなり転びにくくなります。



眠剤を飲んでいる方はふらつきが起きたら医療者に相談しましょう。薬の影響が考えられます。

住民の皆さんへ



当院は、地域のかかりつけ医の先生方と連携し役割を分担しながら診療にあたっております。初期診療はかかりつけ医の先生で、高度な医療が必要な場合は当院で担うというように、役割・機能を分担していますので、以下の事をお願いしております。

- ①緊急性のない場合は、かかりつけ医の先生を先に受診していただくようお願いいたします。
- ②地域の診療所からの紹介及び予約の患者さんが優先となっておりますので、紹介状がない場合は待ち時間が長くなる場合がありますのでご了承ください。（救急を除く）
- ③当院受診の際、紹介状のない患者さんは診療費の他、厚生労働省告示により保険診療外として1,575円（税込み）をいただいております。

…栄養サポート…

ワカメとウドの炒めもの



春が旬のわかめとウド

酢味噌和えや酢の物で食べることが多い組あわせですが、今回は炒め煮にしてみました。

栄養量(1人前)

エネルギー45kcal 蛋白質2.7g
塩分0.8g 食物繊維1.2g

材料(2人前)

ワカメ………5g(乾燥) 日本酒……………小さじ1
ウド……………60g 醤油……………小さじ1/2杯
梅干し……………半分 出し汁……………大さじ2
サラダ油……………小さじ1 削り節……………5g

作り方

- ① ワカメは水で戻し水切りしておく。
- ② ウドは皮をむいて、皮も一緒に千切りにして、水にさらし水気を切っておく。
- ③ 梅干しは種をぬいてペースト状にしておく。
- ④ フライパンに油を敷きウドをさっと炒め料理酒、梅干し、醤油、出し汁をいれ絡めるように煮て、水分が半分になったらワカメを加えなじませ、削り節を加える。



ワカメ

ワカメは日本の沿岸に広く分布し縄文時代から食されているとされています。味噌汁などの汁物の具、酢の物、炒め物、サラダ、地域によっては天ぷらやしゃぶしゃぶ等幅広く料理されています。成分もカリウム ビタミンA、B、K、食物繊維等が豊富に含まれています。

ウド

ウドはシャリシャリとした歯ごたえと鮮烈な香りとが春の野山を感じさせます。
風も無いのに自分から動いているように見えるので"独活"。
またウゴク(動く)がなまってウド。数少ない日本原産の野菜です。



(栄養管理室)

…面会時間のお知らせ…

*入院患者さんの安静・治療の為、面会時間は必ずお守りください。

*患者さんの状態によっては面会時間内でも面会をご遠慮していただく場合もありますので、ご了承ください。

*面会カードを発行しておりますので、お受け取りになってからご面会ください。面会後は必ず返却をお願い致します。

平日
一般病棟 14:00~20:00
2階重症病棟 14:00~16:00

土曜日・日曜日・祝日
一般病棟 11:00~20:00
2階重症病棟 14:00~16:00

《外来診療時間及び担当医師のご案内》

2014年2月予定

診療科	受付時間 (診察時間)	月	火	水	木	金
内科	糖尿病	8:00~11:00 (9:00~)	坂田芳之	金子慶三 (非常勤医師)	坂田芳之	非常勤医師
	甲状腺 (第1・3・5金曜)	9:30~11:00 (10:00~)	X	X	X	X 中村はな (非常勤医師)
	リウマチ・膠原病	13:00~15:00 (13:30~)	X	X	X	X 佐藤仁
		13:00~16:00 (13:30~)	佐藤 仁	X	X	X 佐藤 仁
		8:30~11:00 (9:00~)	X	X	X	X 藤井博司 (非常勤医師)
	腎臓病	13:00~15:00 (13:30~)	X	X	X	X 第2・4水曜
		13:00~16:00 (13:30~)	佐藤 仁	X	X	X 佐藤 仁
		9:30~11:00 (10:00~)	X	X	X	X 山本多恵 (非常勤医師)
		13:00~15:00 (13:30~)	X	X	X	X 佐藤 仁
循環器内科	新患 再来	8:00~11:00 (9:00~)	伊藤愛剛	小山二郎	富岡智子	塙入裕樹 井上寛一
消化器内科	新患 再来 肝臓(紹介のみ)	8:00~11:00 (9:00~)	梅村 賢 大沼 勝 X	阿曾沼祥 三浦雅人 X	飯岡佳彦 梅村 賢 X	玉川/高橋/三浦 大沼 勝 阿曾沼祥 飯岡佳彦 三浦雅人
腫瘍内科	新患 再来	8:00~11:00 (9:00~)	二井谷友公 杉山/二井谷/工藤	杉山/工藤 工藤/二井谷	二井谷/工藤 工藤/二井谷	杉山/工藤 工藤/二井谷
呼吸器内科	新患 再来	8:00~11:00 (9:00~)	岡田信司	綿貫善太	岡田信司 大河内眞也 (非常勤医師)	岡田信司 佐藤輝幸
神経内科	新患(予約優先) 再来	8:00~11:00 (9:00~)	望月 廣 菅野重範	望月 廣 瀧谷 聰	瀧谷 聰 瀧谷 聰	望月 廣 及川崇紀
外科	新患 再来	8:00~11:00 (9:00~)	廣澤/吉田 赤田/高橋	前田/後藤 上野達也	赤田昌紀 佐藤/廣澤	上野達也 佐藤俊
	呼吸器外科 (紹介のみ)	8:00~11:00 (9:00~)	X	非常勤医師 第1・3・5火曜	X	X
	血管外科 (紹介のみ)	13:00~16:00 (13:30~)	X	X	X	X 橋本宗敬 (非常勤医師)第2・4木曜
	乳腺外科 (紹介のみ)	13:00~16:00 (13:30~)	X	渡辺 剛 (非常勤医師)第1火曜	X	X 角川陽一郎 (非常勤医師)第3金曜
	ストマ外来 (紹介のみ)	13:00~16:00 (13:30~)	X	X	内藤広郎 第3水曜	内藤広郎 第1木曜
	肛門外來 (紹介のみ)	9:00~10:30 (9:00~)	X	X	上野/内藤	X
	脳神経外科	8:00~11:00 (9:00~)	荒井啓晶	X	荒井啓晶	荒井啓晶
整形外科	新患 再来	8:00~11:00 (9:00~)	X 二宮/小暮/橋本	橋本禎敬 小暮敦史	X 小暮敦史	二宮忠明
リウマチ外科・脊椎外来		13:00~16:00 (13:30~)	X	X	X	橋本禎敬
形成外科		8:00~11:00 (8:30~)	澤村/泉山	澤村/泉山	澤村/泉山	澤村/泉山
皮膚科	新患 再来	8:00~11:00 (8:30~)	X	東條/笹井	非常勤医師 東條/笹井	笹井 収 東條玄一
小児科	一般 (午前)	8:00~11:00 (8:30~)	大原/堀野/ 木越/二瓶	大原/二瓶	木越/堀野/ 非常勤医師	堀野/大原/ 非常勤医師
	一般 (午後)	15:00~16:00 (15:00~)	大原/堀野/ 木越/二瓶	二瓶/木越	木越/大原	二瓶/木越/堀野
	心臓外来	13:00~15:00 (13:30~)	X	大原朋一郎	X	X
産婦人科	一般	8:00~11:00 (9:00~)	戸澤秀夫	立花眞仁	戸澤/非常勤医師	戸澤秀夫
	妊婦健診		立花眞仁	戸澤/非常勤医師	立花眞仁	戸澤秀夫
泌尿器科		8:00~11:00 (9:00~)	和泉卓司	和泉卓司	川村裕子	川村/ 非常勤医師
眼科		13:00~16:00 (13:30~)	X	非常勤医師	X	非常勤医師
耳鼻咽喉科		8:00~11:00 (9:00~)	新川秀一	新川秀一	X	新川秀一
		13:00~16:00 (13:30~)	非常勤医師	X	非常勤医師	非常勤医師
歯科口腔外科	一般 (午前)	8:00~11:00 (9:00~)	伊藤/君塚	伊藤/君塚	伊藤/君塚	伊藤/君塚
	一般 (午後)	13:00~16:00 (13:30~)	X	X	千葉雅俊 (非常勤医師)第2水曜	X

- 緊急性の高い患者さんは、この時間に関係なく24時間受付いたします。
- 他院からの紹介状をお持ちの方のみ、電話での予約を受け付けています。
- 受付は、平日の午後2時から4時まで(地域医療連携室 TEL.0224-51-5526)。
- 予約変更の受付は、下記病院代表番号まで平日の午後2時から4時の間にご連絡下さい。

●原則として電話による新患の予約受付はいたしておりません。

この時間帯については、変更となる場合がありますのでご了承ください。